

令和3年度 児童発達支援事業所自己評価の集計結果（公表）

公表日 令和4年3月15日

事業所名 児童発達支援事業かやま保育園 ぱんだ組

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	・物置を購入し、プレイルームの遊具を整理したことで、十分あスペースを確保した。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	・子ども全体、保護者全体への情報提供の仕方について日々試行錯誤している。	・構造化や個々の特性に合わせた支援ツールの作成や活用を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	・毎日の消毒を徹底することで、室内を清潔に保っている。 ・感染症予防の為、子どもたちがよく触れる所などは念入りに清掃を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	・前年度の評価結果をもとに改善に努めた。	・今年度の評価結果を次年度にいかすための会議を行い、方法を考える。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	・本年度は監査がなかったため行っていない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	・毎月の職員研修のほかに毎日のケースカンファレンスが職員の資質時向上に繋がっていると考えている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	1	・遠城寺式発達検査を行っているが、保護者からの聞き取りだけでは客観的とはいえず、他の検査などでのこどもの評価が必要と思われる。	・事業所の言語聴覚士を中心に、必要なアセスメントツールを取り入れ、職員研修で検査方法などを学ぶ。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	・年齢別のプログラムを行うなどの工夫をしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	8	0	・5歳児の「ぶどうグループ」や低年齢児の「さくらんぼグループ」など新しい活動グループを設定した。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	・準備を兼ねて、その日のスケジュール確認や活動の準備を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	・日々のカンファレンスの内容（その日の子どもたちの様子や支援の内容など）に目を通し、翌日の療育に役立てている。	・療育記録の書式を変更し、目標にあった支援ができているかどうかを確認し、次回の支援内容を考えていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	・3か月ごとに会議で見直しを行っている。		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	・児の担当職員及び、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	・本年度から、母子保健等の職務に従事する職員が加わり、これまで以上に連携ができている。 ・必要に応じて関係機関との関係者会議を設け、情報共有を行っている。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	・地区担当保健師と連携し、利用開始につながるケースがあった。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	0	・はまぐみ小児療育センターの作業療法士と情報交換などを行った。	・医師と連携を図り、てんかん発作についてのマニュアルや、個々に合わせたフローチャートの作成を行う。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	・互いに行き来して現場を見ながら情報交換等を行った。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	・支援学校との交換実習を行い、卒園した児の支援方法を伝達するなどした。	・支援学級とも連絡を取り、情報交換を行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	・北区にある児童発達支援事業所と、お互いの強みを生かした連携や情報交換を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	0	・週2日、併設保育園の同学年クラスとの交流保育を行っている。	・これまでは親子で交流保育に参加していたが、次年度は子どもと保育者で参加する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	0	・北区自立支援協議会に参加し、北区における地域支援の課題について話し合った。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	・親子通園なので、日頃から保護者に声をかけ話し合っている。	・事前予約性の相談時間を設けられるように調整中。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	8	0	・保護者講座や相談会を行い、家庭でできる支援を伝えた。	・より多くの保護者に参加してもらえるように、会場や講座の内容を企画する。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0		・新規利用時に1回説明しているが、2年目以降も改めて説明を行う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	1	・年度当初の個人面談で保護者一人ひとりに説明を行った。	・個別支援計画の更新時には必ず説明を行う。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	・「ママタイム」や「先輩保育者の話」等を企画運営し、情報交換の場を提供した。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	・利用開始時に同意書を記入してもらい、各種情報提供などはその都度、保護者に承諾をとっている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	・カードを使ったコミュニケーションの方法を考え、個々に伝わるように配慮した。	・普段の遊びやイベントの様子を撮影し、プレイルームに掲示することで利用者へ伝える
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	・感染症対策で外部の方の入室は関係者のみにしていた。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	1		・訓練日に利用しなかった方にも伝わるように、手紙等で知らせていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	・アレルギーのある子どもの利用がなかった	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		・併設保育園との共有が不十分だったので、会議で周知する方法を考える。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	2	・身体拘束を想定するケースは今のところないため、起債はしていないが、組織全体で虐待研修と合わせて行うことが大切だと思う。	・市の児童相談所に協力依頼し、虐待研修を行う。